



とよおか

議会だより

第 16 号

平成14年7月31日

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷(株)



高齢者クラブ連合会芸能大会

6月定例会

6月定例会の様子	2~3
予算特別委員会の質疑から	4~5
一般質問の様子	6~7
委員会だより	8~9
「私の一言」、広域議会、編集後記	10





◇今回の補正予算とは直接関連はないが、六月と七月の二回行われた空中散歩について、効果の検証はどうするのかとの意見も出され、村としては調査しながら行っていくとの事である。

老人保健特別会計

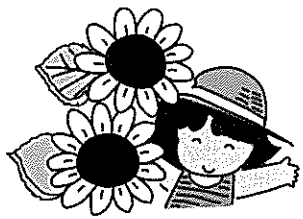
今回補正予算では六百四十六万円を追加、総額では八億三千七十六万円となる。内容については一般会計への繰出しで、過年度分の精算である。

国保税はほぼ前年並

国保税条例が改正されたが、若干額としては、引き上げになる世帯もあるが、ほぼ前年並である。額はそれぞれの家庭によって異なる。六月定例会では税率が決定されるが、今年度は応能・応益が五十二対四十八から五十三対四十七となり低所得者にとっては若干有利となった。

有事三法案慎重審議の意見書可決

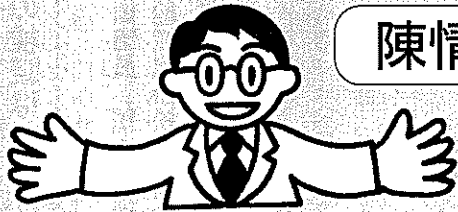
国会で重大法案として審議されているが、この法案が通れば、有事と判断される事態がおきた場合国民の行動は監視され、自治体の権限も制限される。近隣では喬木村で断固反対が全会一致で可決。豊丘村としては慎重審議を求める意見書で可決。飯田下伊那では、六月末時点で十三自治体、県内では百を超える自治体で可決されている。◎合併問題研究会を立ち上げ庁内ですすめに助役をキャップに研究会が活動しているが、議会としては学習会等を行ってきたが、更に研究を深めるため月一回程度の研究会を行う。方法としては推進、反対にこだわらず、議員として一定の認識をもつようにとの意見から決まった。



国保税率割合の表

	13 年 度		14 年 度	
	医 療 分	介 護 分	医 療 分	介 護 分
所 得 割	2.63%	0.66%	2.86%	0.88%
資 産 割	16.74%	6.98%	15.26%	7.18%
被保険者均等割	11,800円	5,500円	12,100円	6,200円
世帯別平等割	11,900円	3,500円	12,200円	3,900円

陳情・請願



- ◎建築工事における会員優先指名に関する要望 不採択
- ◎准看護師の看護師への移行教育の早期実現を求める請願 採択
- ◎「健康グレードアップ21」策定に係るたばこの扱いについて 不採択

意見書

- ◎「森林・林業基本法」に基づく政策・財政の充実を求める意見書 可決
- ◎有事法制に対する意見書 可決



慈恵園駐車場建設用地

6月定例会のようす

◎国保税はほぼ前年並みに

◎SBC「ふるさと応援団」予算など

第二回定例会が六月十一日から二十四日までの会期で行われました。今定例会は条例改正二件、十三年度補正予算(専決処分)、十四年度一般会計補正、老人保健特別会計補正予算、陳情・請願三件、議員提案による意見書などがありました。

◆農業振興費

県の生産振興対策として、黒繁殖和牛の購入への補助がされる。予算は九十二万円。

◆土地購入費

一般会計補正のなかでもっとも問題のあったものとして、中学校下の教員住宅の土地購入費に関連しての事で、土地の所有者はずっと以前に村外へ転出しているが、今回事情があり村に購入してほしいと話があった。村で調査したところ、地権者からは固定資産税がずっと納入されず、村から賃借料を支払われていない事がわかり、報告された。相当以前からのことであり、よく調査する必要もあることから、予算は承認のうえ他の公有地についても大至急調査し、予算執行は議会の承認を得てからということになった。また今後こういう事のないように記録はしっかり残すようにとの要望も出された。

◆介護予防施設管理委託料

介護予防施設「はつらつ」の清掃業務費用として十七万八千円。業者に委託される分である。この予算に関連して休館日等の取扱に対しても質問があった。

◆慈恵園駐車場整備

慈恵園の駐車場が手狭になったため拡張される。工事費、借地料で四百九万円の予算である。

◆SBC番組作成委託料

SBC放送による番組「ふるさと応援団」の番組製作の費用として、三百十五万円計上された。内容については村内の名所や有名な所、名物を中心に編集。放映予定は九月末で約一時間くらい。近隣では飯田市、泰阜、清内路などが放映されている。

税金の使い方を 予算



問題になった教員住宅の土地

南市場教員住宅の土地
購入費は二重購入とな
らないか

久保田議員 佐原線沿いの教員住宅の購入費二百五十万円あるが今迄は借地だったのか、地代の支払いはしていたのか詳しい説明を。

池田教育長 土地の所有者が松川町に移住しているが、事業の

行き詰りで管財人から購入してほしいと申入れがあった。今迄は地代を払っていない。固定資産税も免税点すれすれで課税した時もあるが納入されている。書面はないが合併当時から村で使用している。当時の経緯を調査する方法がない。

片桐議員 謄本を見ても事業に行き詰まる位なら銀行等へ担保にするのが普通だが抵当権の設定はなく不思議、状況からみて村のものとの認識があったのではないか。

Q 在介センターの改築は
A 保健センターの玄関横にある在宅介護支援センターは一室の中にケアワーカーや保健師等が常駐しているが、手ぜまのため広くしたい。その改築費九十四万円である。

久保田議員 ほかにもこのような不明瞭な土地があつてはならないが契約書の見直し、登記等の事務処理、記録を残すなど基本的なことを見直す必要があるのではないか。

Q 老人医療特別会計は
A 十三年度の精算を行い残額五百八十九万円を一般会計に返すものである。

以上執行停止分を含め補正予算は原案通り承認された。

聞きました 特別委員会の質疑から

六月定例議会に提案された一般会計補正予算は千二百八十四万六千円で、老人保健医療の特別会計の精算勘定六百四十六万円の僅かな金額で原案通り承認されました。

SBCテレビの放送料
とPR効果は

「はつじつ」の管理委託
料の使い道は

松くい虫空中防除効果
の検証は

奥山議員 松くい虫空中防除対象地域内の松枯状況調査はしてあるか、効果の検証が必要と思

福沢課長 調査はしていないが、空中防除前に全部伐倒処理してある。この処理量についてはデータは調べられる。

奥山議員 企画費三百十五万円のSBCテレビの番組製作費があるが、その内容は決まっているか。村のPR効果はどうか。

唐沢議員 介護予防施設の管理委託料十七万円は障害者団体に管理委託している分とダブらないか。

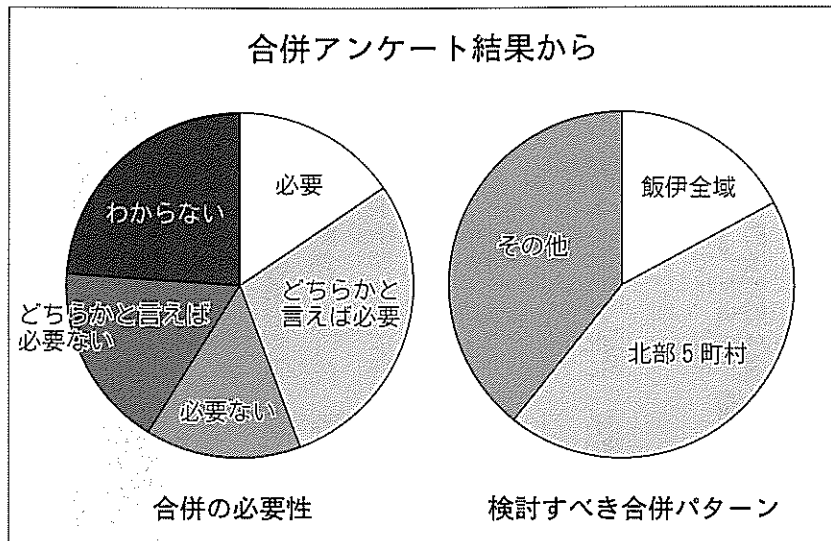
菅沼議員 佐原線には道路に倒れて来そうな枯木が多いが。

福沢課長 秋ごろから路側樹林帯整備を行う予定である。



松くい虫空中防除の効果は

一般質問



質 市町村合併に村長の意志を 答 小規模町村に不利な方法は遺憾

前 沢 光 昭

質問 三月議会の私の質問に対する答弁の印象では、村長として合併を押しつけてくる国のやり方に対して反発を感じつつ、交付税が減らされてしまうのではという国の脅しもあり、研究だけはつづけるといった印象を受けた。

今回五月末に二十歳以上の住民に対して合併に関するアンケートが行われたが、集約状況や感想をお聞きしたい。

二つ目に国の言う将来の少子高齢化の問題や財政危機が合併で解決、乗り切ることが出来ると思っているかお聞きします。

三つ目として、豊丘村の交付税のもつ意義をどう考えるかお聞きします。林野庁では森林がもつ公益的機能を全国で年間七十五兆円、これを豊丘にあては

めると年間約百八十二億円、豊丘への交付税額は年間約二十億円でなんら無駄な金でないことは、このことからよくわかる。村長の考えは、村長として、大きな自信をもって合併に対する拒否をしたらどうか。

村長 アンケートで直感的に感じたのは、やはりまだこの問題では無関心の方が結構多数いるということ。数字が示している。ぜひ人任せでなく自分のこととしていろいろな場で議論していただきたい。また国が財政的な理由により交付税を小規模町村に不利な方法で合併推進していくことは遺憾に思う。

そして、交付税についても、削減で浮いたお金を有事三法案の議論を見ても、そちらの方に回されるのではということ懸念する。

月以後となるので、(村)教委としては村長の意向を聞く中で詰めていきたい。

あさぎりの郷の特別短期入所制度について

質問 あさぎりの郷が開所して二ヶ月余が経ったが、開設前から期待されていた高森町民と豊丘村民のみが占ら利用できる特別短期入所制度が、県の認可が得られず今だに実現できない。緊急時についても利用できるショー

トステイとして五床を計画したものであり、早期に実現するとりくみをすべきと考えるが、村長 介護保険が適用される二十床のショートステイに特短の五床を加えて二十五床の変更申請を行い、五床を弾力的に利用できるような高森町及び施設を運営しているところであり、早期に運用できることを願っている。



北小学校の音楽会

質問 本年度の南北小学校六年生は七十七名であり、来年度の中学一年生は二クラス編成となる。一クラス四十人近い生徒数となるので父母や教師から心配

の声がでている。少人数学級の級編成弾力化の方針を打ち出している県もある。長野県においても少人数学級が実現できるよ

質 少人数学級への取り組みを 答 県教委と協議していく

唐 沢 啓 六

質 町村合併進めるつもりか 答 検討深める中で対応したい

片 桐 秀 人

質問 町村合併アンケート調査が行われたがこの研究会について伺いたい。

村長 助役がキャップで各課係長六名で検討資料を作成した。私も最終的な内容検討もして調査をお願いした。

質問 調査結果が公表された。村民の合併に対する関心が深まったと考えるか。合併必要、北部五ヶ町村で合併が数では多かった。これを踏まえて合併を進めるつもりか、現状維持で行くつもりか。伺いたい。

村長 寄せられた意見では合併を考えるきっかけになった。もっと資料を出して欲しい、慎重論の方もあり様々である。今の段階他の町村との関係も大切で、この結果を噛み砕いて検討し対処して行きたい。

質問 地方自治、地方分権、交

付税法の主旨に照して疑問や質問を持っている方も多し。膝を突き合わせての懇談が必要と思うが今後どう取り組むか伺いたい。

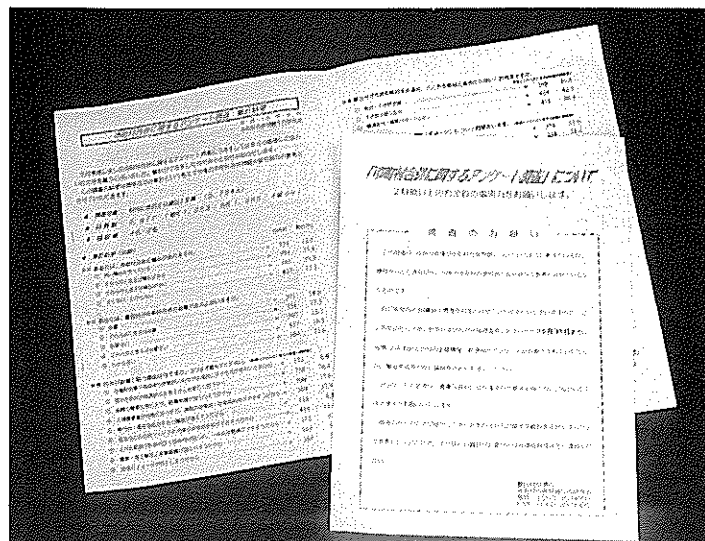
村長 近隣の様子もうちがう地域内で議論を深めて頂きたい。この一ヶ月位は様子を見た。

質問 村長として近隣町村の首長と合併について話し合いをしていくか伺いたい。

村長 非常に重大な問題で、個人の考え方は出せないと言う立場にあると理解している。

質問 合併の是非は住民投票によって決定すべき村政課題と考えるが、現在はどう考えておられるか伺いたい。

村長 合併について住民の意向を尊重することに変わりはないが、住民投票にするか議員の声を尊重するか今は答えられない。



20歳以上の全村民を対象としたアンケート調査

総務 町村合併研究について 北部ブロックへ提案

地方分権型社会の推進に伴い、七年三月までを期限とする合併市町村は自己決定、自己責任のもと、高度化、多様化する住民ニーズに対応し、個性豊かな地域社会を築いてゆることが求められています。

また、国、地方を通じた財務状況は巨額の長期債務残高を抱え極めて厳しい状況にあります。

こうした中で国においては、町村合併を推進すべく、平成十七年三月までを期限とする合併特例法で手厚い財政援助をすることとなっております。

しかし、飯田下伊那地方は町村それぞれの取り組みはあるものの、合併は相手のあることでもあり、今一歩踏み込んだ議論がなされておられない状況にあります。

この総会に豊丘村議会として「北部ブロック議会に市町村合併問題を研究する組織を立ち上げ、積極的に研究すること」を提案します。

総務委員長
筒井卓徳

下伊那北部五町村では、毎年議員の総会をして広域に股がる

問題について議論し行動しており、本年は七月三十日に大鹿で開催されます。

だより

委員会



実現の日はあるか—天竜川架橋

委員会交流

高森町との

経済 建設

かねてよりの計画が実現できました。高森町におきましては、昨年選挙の年であり、議員の皆さんにも大きく変動がありました。今回の交流会につきましては、豊丘村より呼びかけをさせて頂きました。六月の議会会期中を予定しましたが、調整がつかずに六月二十七日に行いました。交流会のテーマとして

河野・山吹間の天竜川架橋につきましては、河野堤防にて設計図面による担当者の説明を聞きながら、高森町側の取付け道路については、現状確認を行いました。

この河野・山吹間の架橋については、一貫道路建設期成同盟会橋本・豊丘・高森の三町村にて結成をされており、四月の期成同盟会の総会においても早期

併の話題も多く特に地方財源に決定がされました。私たち議員にとっても天竜川架橋の実現に努力すべく、平成十四年度の北部地区議員総会に豊丘村より提案を行い、高森町の皆さんも是非同意を頂く事をお願いしました。また雑談の中では、町村合

併の話題も多く特に地方財源に決定がされました。私たち議員にとっても天竜川架橋の実現に努力すべく、平成十四年度の北部地区議員総会に豊丘村より提案を行い、高森町の皆さんも是非同意を頂く事をお願いしました。また雑談の中では、町村合

経済建設委員長
鹿角鉄男



社会 厚生病院 療養型病床一〇〇床を計画

豊丘村及び高森町議会社会委員会、正副議長と下伊那厚生病院、院長、事務長ほかの皆さんと同病院に対する意見交換が行われた。

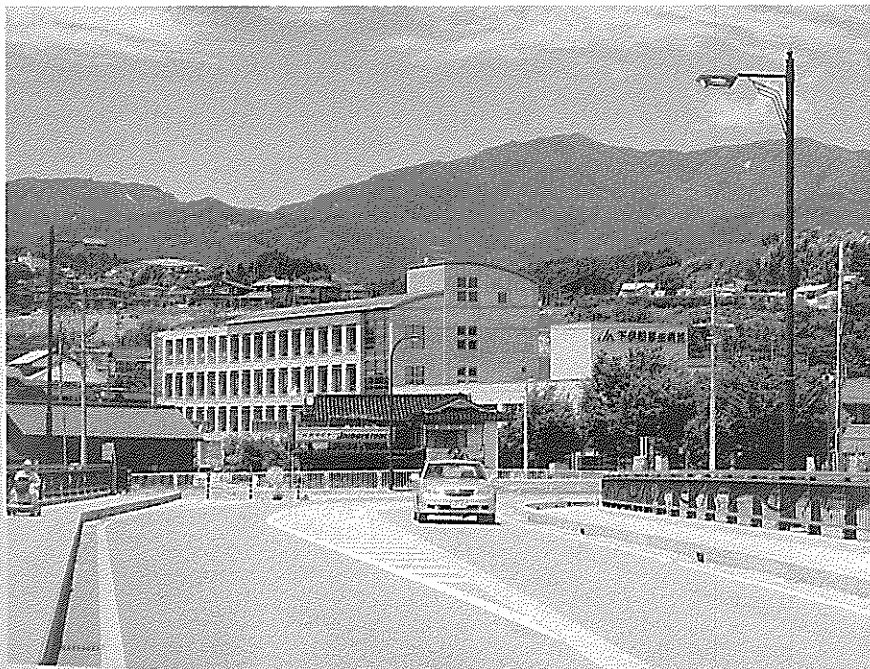
本年五月北信総合病院副院長松浦氏が院長、富士見総合病院より事務長が赴任し、下伊那厚生病院の体制整備強化に乗り出した。

平成十一年四月、長年の念願かなって病床五十として発足した。現在標榜科目、内科・外科・整形外科・眼科・小児科・婦人科等六科で充実を進めている。又医療救急輸送病院参加、通常の休日夜間電話等により受診希望の都合、日当直医師に確認の上受け入れる等、地域医療体制強化に向けて事業の展開を進めて来た。

この間医師の交替が早い、待ち時間の短縮等の意見も出され懇談が進む。その中で大病院の布石として病床の増床が長年の懸案であり現在医療型五十床、介護型五十床の増床を計画、認可の方向で進んでいる。又脳検

査の出来るMRIの導入の準備も進めてゆく。しかしながら資金面の問題もあり行政、JA等地域の力強い支援を期待したいとの事でもあります。厚生病院は現在県下十一病院、医師四百四十六人、病床占有率約二〇％、経営独立採算制で健全な経営として進んでおります。

社会委員長
福澤幸雄



拡充が期待される厚生病院



私の一言

す。私を含め普通は全ての面で考えて結論を出している訳ではありません。私が知る教育の立場から考えてみたいと思います。

現在飯田市と豊丘村の学校設備を比べると圧倒的に豊丘村の方がよいことが分かります。これは自治体もつ学校数が多くなる分一つの学校に分配される予算が減ってくることによるからです。

1 + 1 = 2 にならず

例えば喬木村と合併した場合果たして現在ある四小学校の学校予算を合計した分の予算額が計上されるのでしょうか。当面はそうなたとしてみても自治体の考えにおいて予

合併問題は様々な観点で考えられていて、このことは教育関係ばかりでなく細かく考えていけば多くの分野の中でありうることでないでしょうか。自治体の首長が合併しても増えるわけではありませ

福 島 片 桐 達 司

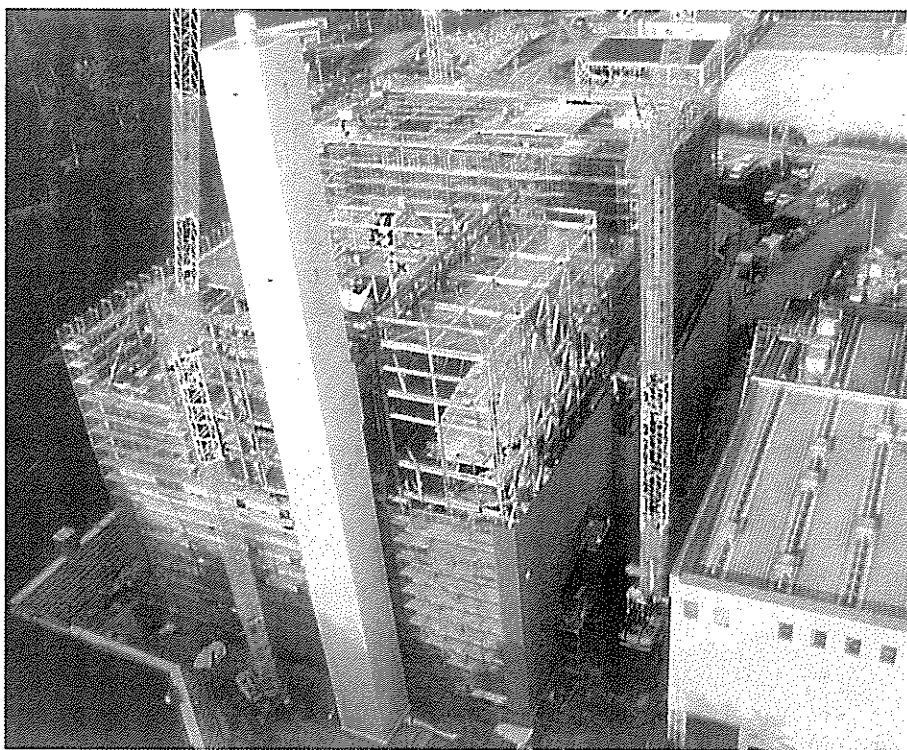
政問題から総合的に考えれば合併する方がハード面でのいいのかもしれない。しかし、合併しても住む人は変わり

ません。殊に山間地に住む人にとって合併により行政サービスが薄まって低下してしまうようなことがあれば両手をあげて賛成という訳にはいきません。今回の合併問題に関わって住民の思いが充分に考慮された結論を望みます。

広域 議会

新ゴミ焼却場

十月試運転開始十二月本稼働



新ゴミ焼却場建設のようす

編集後記

住基ネット：住民基本台帳法にもとづくネットワークシステムが八月五日から実施されようとしている。

国民一人ひとりに十一ケタの番号をつけ、氏名・住所・性別・生年月日とその変更情報を國と自治体が管理しようとするもので、改正案では、パスポート発給や厚生年金の受給、不動産登記、自動車の登録など、二百四十六事務の情報管理しようとするものだ。

流出、不正使用が社会問題化している中での、住基ネット構想の実施は個人のプライバシー保護措置が十分担保されなくてはならないのだが。

今国会に出されていた、個人情報保護法案の成立が見送られた状況下、八月実施の凍結を求めめる声が高まり、喬木村・下條村議会をはじめ多くの自治体で執行延期の意見書が可決されている。

脱ダム宣言をめぐる県議会と田中知事の対立は、県政史上初めて知事不信任案の可決という事態に至り。

その審判が県民に委ねられ結果が注目されることとなった。

南信州広域連合議会第一回臨時議会が開催され、専決三件、条例改正二件、財産取得（消防車）一件、補正予算三件が慎重審議の結果原案通り可決された。

補正予算では、新ゴミ焼却場関係で一億五千五百五十万円が追加され総額で八億一千三百八十万円となった。豊丘村の負担額は、建設費、事務費、運営費、公債費で六百十三万二千元であ

る。今年の最大事業である、新ゴミ焼却場の建設は現在七十五％の進捗率にあり十二月本稼働に向けて建設が進められている。操業部分は、施工業者に責任の明確化、設計思想の確実な実現安全で安定した操業を計る為、荏原エンジニアリングサービス(株)に委託する。(施設運転業務委託は六千七百万円)